

科 目 名	画像診断学【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	林 真一郎・國 分 裕 一・南 里 悠 介						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	リハビリテーションを行う上で画像診断の理解は必要不可欠である。理学療法士、作業療法士が診断することはないが、それら画像所見から疾患を理解し、障害を理解することは必要となる。疾患及び障害の現状、今後予測される機能的、能力的予後を考察できる必要最小限の読解能力は必要である。本講義ではそれら能力の獲得を目的とし開講する。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 ・リハビリテーションスタッフとして最小限必要な画像診断所見を理解する。 ・正常、異常のCT、MRI 所見を理解する。 ②思考・判断 ・画像所見から疾患の程度、障害像、問題点を想起できるようにする。 ・所見の結果を理学療法、作業療法のプログラムに生かせるようにする。 ③関心・意欲 画像所見から障害への繋がりに対し興味を抱く。 ④態度 理学療法士、作業療法士にとって画像所見を読み解く事の重要性を感じ取る。 ⑤技能・表現 講義で学習した内容に関する質疑を他学生の前でプレゼンテーションできるようにする。						
学 習 方 法	方法は講義を中心とし、教材は実際の画像をプロジェクターに映し出し学習する。						
テキスト及び参考書等	講義用に作成したオリジナル資料をテキストとする。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				85	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表				○		5	
授業への参加度			○			5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	総論と基礎知識【國分】						
第 2 週	脳血管疾患のCT 所見と疾患および障害（1）【南里】						
第 3 週	脳血管疾患のCT 所見と疾患および障害（2）【南里】						
第 4 週	脳血管疾患のMRI 所見と疾患および障害【南里】						
第 5 週	その他神経疾患の画像診断を理解することができる【南里】						
第 6 週	胸部疾患の X 線画像と疾患、障害の結びつき【林】						
第 7 週	胸部疾患の CT 画像と疾患、障害の結びつき【林】						
第 8 週	正常関節単純 X 線と解剖学的位置関係 肩・肘・手関節（1）【國分】						
第 9 週	正常関節単純 X 線と解剖学的位置関係 肩・肘・手関節（2）【國分】						
第 10 週	肩関節・肘関節・手関節の疾患各論【國分】						
第 11 週	正常関節単純 X 線と解剖学的位置関係 股・膝・足関節（1）【國分】						
第 12 週	正常関節単純 X 線と解剖学的位置関係 股・膝・足関節（2）【國分】						
第 13 週	股関節・膝関節・足関節の疾患各論【國分】						
第 14 週	正常関節単純 X 線と解剖学的位置関係 脊柱【國分】						
第 15 週	脊柱の疾患各論【國分】						
第 16 週	定期試験（筆記試験）						
備 考							